ある男と無花果

小川未明

青空文庫

ある男が、縁日にいって、植木をひやかしているうちに、とうとうなにか買わなければならなくなりました。そして、無花果の鉢植えを買いました。

「いつになったら、実がなるだろう。」

「来年はなります。」と、植木屋は答えました。しかしその木は、小さくありました。

男は、それを持って帰る途中夕立にあいました。

もう、そのときは、そんな木どころではありません。木などは、どうでもよかったのです。友だちの家に頼って、雨のやむまで待って、帰りには、その無花果の鉢を預けてゆきました。

幾月も、幾年もたちましたけれど、男は、忘れたものか、友だちの家へあずけた木を取りにゆきませんでした。

しかし、この男は、なかなか欲深でありました。五、六年もたって、ふと、いつか自分は無花果の木を友だちのもとにあずけておいたことを思い出しました。さっそく取りにゆきました。

「あなたが、きっと取りにおいでなさると思って、大事に育てておきました。」と、その家の人はいって、裏庭に案内しました。

大きな無花果の木に、実がいっぱいなっていたのです。男は、驚きました。かつ当惑しました。しかたがなく、掘って、車に載せて帰りました。

しかし、それは、木を移す時期でなかったので、実もしなびてしまえば、木も枯れてしまい

ました。

けっきょく、男(おとこ)は、ほねおり損(ぞん)に終(お)わったわけです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　4」講談社
1977（昭和52）年2月10日第1刷発行
1977（昭和52）年C第2刷発行
※表題は底本では、「ある男《おとこ》と無花果《いちじく》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：富田倫生
2012年1月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ある男と無花果

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/